

発行日
2023年
3月26日日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 比ちようがっごう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

今週のお祈り 大齋節第5主日特待

全能の神よ、み子イエス・キリストは大祭司としてこられ、その血をもって至聖所に入り、ただひとたび永遠の贖いを全うされました。どうかご自身を神に献げられたキリストの血によって、わたしたちの良心を死に至る行いから清め、あなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

今週の聖書 ヨハネによる福音書 11:17〜44

17 さて、イエスが行って御覧になると、ラザロは墓に葬られてすでに四日もたっていた。18 ベタニアはエルサレムに近く、十五スタディオンのところにあった。19 大勢のユダヤ人が、兄弟ラザロのことでマルタとマリヤを慰めようとして来ていた。20 マルタは、イエスが来られたと聞いて、迎えに行ったが、マリヤは家で座っていた。21 マルタはイエスに言った。「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょう

に。22 しかし、あなたが神にお願いすることは何でも、神はかなえてくださると、私は今でも承知しています。」23 イエスが、「あなたの兄弟は復活する」と言われると、24 マルタは、「終わりの日の復活の時に復活することは存じています」と言った。25 イエスは言われた。「私は復活であり、命である。私を信じる者は、死んでも生きる。26 生きていて私を信じる者は誰も、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」27 マルタは言った。

「はい、主よ、あなたが世に来られるはずの神の子、メシアであると私は信じています。」28 マルタは、こう言うてから、家に帰って姉妹のマリヤを呼び、「先生がいらして、あなたをお呼びです」と耳打ちした。29 マリヤはこれを聞くと、すぐに立ち上がり、イエスのものに行った。30 イエスはまだ村には入らず、マルタが出迎えた場所におられた。31 家でマリヤと一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がって出て行くのを見て、墓に行くと泣くのだらうと思ひ、後を追った。32 マリヤはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足元にひれ伏して、「主よ、もしここにいてくださいましたら、私の兄弟は死ななかつたでしょう」と言った。33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちが泣いているのを見て、憤りを覚え、心を騒がせて、34 言われた。「どこに葬ったのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。35 イエスは涙を流された。36 ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。37 しかし、「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようにはできなかったのか」と言う者もいた。38 イエスは、再び憤りを覚えて、墓に来られた。墓は洞穴で、石で塞がれていた。39 イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、もう臭います。四日もたっていますから」と言った。40 イエスは、「もし信じるなら、神の栄光を見ると言ったではないか」と言われた。41 人々が石を取りのけると、イエスは目を上げて言われた。「父よ、私の願いを聞き入れてくだ

さつて感謝します。42 私の願いをいつも聞いてくださることを、私は知っています。しかし、私がこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたが私をお遣わしになったことを、彼らが信じるようになるためです。」43 こう言うてから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。44 すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「ほどいてやって、行かせなさい」と言われた。



聖書からのメッセージ『行かなければならない道』司祭 池 星熙

世の中のすべての人が望む最後のものは命です。私たちは毎日毎日、人間の弱さと人生の無常を体験していますから、まさにそうです。そのため、世の中で何よりも苦しく受け入れがたいものが死でしょう。今日の福音書はラザロが死んでしまっても三日も過ぎていましたから、人々は彼の死を取返す事が出来ない事実だと思いました。にもかかわらず、イエス様は自らラザロの所に行きました。ユダヤ人たちによって殺害される恐れがある危険な道でもありましたが、イエス様は行って、ラザロを復活させる奇跡を行ないました。その奇跡の後に続く道こそが、イエス様が行かなければならない道だということをご自分でわかっていらっしゃるからです。